

# 新型コロナ 中部の衝撃

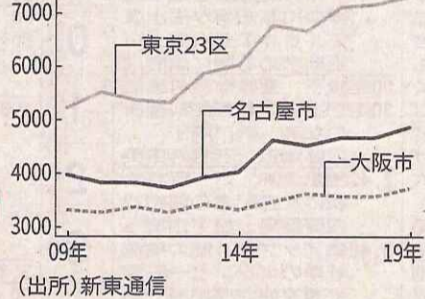
異変、不動産市場

名古屋は伝統的な土地神話と一戸建て志向が強く、低金利を追い風に住宅の着工は右肩上がりが増えてきた。供給、価格ともに天井を打つとみられていた矢先、コロナ禍で一気に反動安のリスクが高まっている。

住宅価格は、じりへ落としの様相を見せ始めた。一例が昨秋、名古屋港区の住宅地にできた物件だ。イオンモール名古屋茶屋や環状2号線に近い便利な立地。建物面積100平方メートルの4LDK、3000万円と周辺相場並みの売り出しだったが、客がつかない。春先に100万円、7月にさらに100万円……。この半年で2度下がり

## 戸建て、半年で2度値下げ

名古屋の物件は大阪より高い (新築マンションの平均価格)



2800万円になった。担当者は「(昨年10月の)消費増税前の駆け込み需要の反動が収まらないうちに新型コロナが襲った。内見さえ少なくなって」と肩を落とす。

名古屋市中心部を軸に不動産仲介などを手掛けるアーバン・スペースでは、取扱物件の価格がコロナ前と比べて平均1割ほど下がったという。村松砥而代表は「所得の低い層ほど、住宅ローンに組み込むに慎重になってい」と話す。

## マンション成約、5年ぶり低さ

まで新築マンションは売出しから1カ月以内に6〜7割が成約したが、5月は57%と、約5年ぶりの水準の低さ。将来の収入不安が高まったとして、家族層などが様子見姿勢を強めたためだ。

## 億ションには買い手も

家族層などが様子見姿勢を強めるなか、株高を背景に富裕層のマナーは不動産にも向かってい

中部

名古屋 052-2243-3332  
岐阜 058-2262-4884  
電話 059-2228-4475